

加茂川河川敷のハナショウブ

お気軽においでください。

市民と市長の「よもやま話」の日

8月24日(木) } 午後1時30分から行います。
29日(火) } 時間等については御相談ください。

【受付・問い合わせ】 市役所3階 総務課広報広聴係
(☎52-0080 内線331)
までお願いします

主な内容

- 男子体操日本代表の公開試技に
市民の皆様30名を御招待…………… ②
- 小池市長の市政報告
光ファイバーサービス開始について…… ③④
- 市史編さん委員紹介④…………… ⑦
- 歯の健康「口の中のがん」…………… ⑦
- 加茂の風土記「小学校の始まり(1)」…… ⑧

男子体操日本代表 世界選手権へ向け 加茂市体操トレーニングセンターで合宿

9月10日(日)公開試技に加茂市民の皆様30名を御招待

御観覧応募は9月4日(月)までに

加茂市体操トレーニングセンターで、第39回世界体操競技選手権大会(10月14日から、デンマーク・オーフス)と第15回アジア競技大会(12月2日から、カタール・ドーハ)に出場する日本代表男子選手の強化合宿練習が、9月8日から14日まで行われることになりました。

このトレーニングセンターは、体操界で全国的に知られていますが、北京オリンピック(2008年)で使用予定のヤンセン・フリットセン社の器具をすべて備えているのは、日本では加茂市体操トレーニングセンターのみであるのも練習会場に選ばれた大きな理由とのことです。

また、東京以外で、このような合宿が行われるのは、初めてであるとのことです。



そこで、具志堅幸司監督の特別の御取り計らいと加茂体操クラブ総監督の横山正明先生の御尽力により、公開試技を観覧できる機会をつくっていただきました。

おいでになる選手は、富田洋之・水鳥寿思・中瀬卓也・塚原直也・関口栄一・森起人・桑原俊・馬場亮輔・小林研也・芳村裕生という最高のメンバーです。

公開試技は、9月10日(日)午前中に1時間程度の予定で、体操トレーニングセンター2階ギャラリーからの観覧となり

ます。

この公開試技は、種目別代表を決める真剣勝負です。したがって、観覧席の数は、極めて少なく、公開試技の間中は、会場への出入りができなくなり、携帯電話の使用はもちろん、カメラ撮影・録画もできません。

なお、合宿の期間中は、公開試技のほかは、会場への立ち入りは、原則としてできませんので、御理解くださいますようお願い申し上げます。

観覧のお申し込みは、はがき、電話としますが、応募多数の場合は抽選となります。なお、観覧御希望申し込みは中学生以上とさせていただきます。申し込みの方法は次のとおりです。

締切日 9月4日(月) 必着

はがきでの申し込みの場合

(あて先) 〒959-1139 加茂市役所社会教育課

(裏面) 郵便番号・住所・氏名・年齢(学年)

はがき1枚で1名の申し込みとなります。

電話での申し込みの場合

電話番号 52-0080 市役所社会教育課へ。

はがきの裏面と同じ内容をお伝えください。

※観覧決定の方には、はがきでお知らせします。

※申し込みのはがき・電話での個人情報、抽選と

はがきの発送以外に使用されません。

問い合わせ 社会教育課(☎52-0080内線461)へ。

市政報告

加茂市長 小池 清彦

光ファイバーサービス開始

いよいよ加茂市でインターネットの光ファイバーサービスが開始されることになりました。

まず、八月一日から西加茂の全域でNTT東日本の光ファイバーを利用した超高速インターネット接続サービス（「Bフレッツ」や「ひかり電話」などの）の提供が開始されます。

西加茂の皆様には、十分に光ファイ

バーサービスを御利用いただきたく存じます。

NTT東日本の数藤崇 新潟支店長
さんに厚く御礼申し上げます。

今後は、加茂市長が市内全域にわたつて、市民の皆様の利用の御希望を取りまとめて、NTT東日本の新潟支店長さんと直接御相談申し上げます。御一緒に市内全域の光ファイバーサービスを早急に進めていくこととなります。

なお、悪質な業者がいるとも聞きますので、光ファイバーサービスを御利用なさりたい方は、お気軽に加茂市役所総

務課情報政策係(電話52-0080

内線327)へ御相談くださることをお勧めします。

昨年十二月、NTT東日本の数藤崇 新潟支店長さんが来訪された際、私から「加茂市長として、市民の皆様の個々の御利用の御希望の取りまとめなど、あらゆることを全力を挙げてやりますので、早急に加茂市内全域にインターネットの光ファイバーサービスを行っていただきたく、お願い申し上げます。特に多くの企業や果樹等の販売農家が存在する須田、七谷、加茂新田では、ISDNのみしか利用できず、大変困っておられますので、光ファイバーを急ぐ必要があります。」と申し上げました。

その御対応は、極めて早く、早速、加茂

市全域でアンケート調査を行われ、その結果を受けて、まず、八月一日を期して、西加茂全域に光ファイバーサービスを開始することとされました。

このたび、光ファイバーを利用した超高速インターネット接続サービスの利用が開始されるのは、西加茂地域の番田、幸町一丁目・二丁目、石川一丁目・二丁目、寿町、旭町、栄町、新栄町、大郷町一丁目・二丁目、高須町一丁目・二丁目、柳町一丁目・二丁目、芝野、横江になります。

今後は、加茂市長が須田、七谷、加茂新田を含む加茂市全域で個々の御利用の御希望を取りまとめ、数藤崇 新潟支店長さんと直接御相談申し上げながら、御一緒に早急に光ファイバーサービスを進めていくことになります。

若宮住宅地分譲中

1区画86坪～115坪の広い区画
770万円台～1,070万円台まで15区画を分譲

緑豊かで閑静な住宅地
広い区画でゆとりある生活

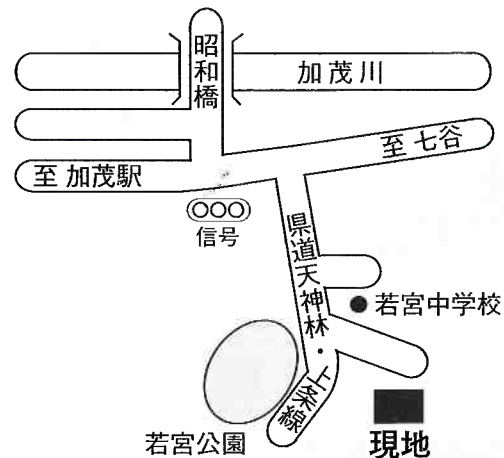
加茂南小学校・若宮中学校・若宮公園・商店街へ至近
子どもからお年寄りまで暮らしの最適地

分譲区画



加茂南小学校へ徒歩15分・スクールバスあり、
若宮中学校へ徒歩4分
中央コミュニティセンターへ徒歩15分

周辺マップ



- ・所在地 加茂市若宮町2丁目地内
- ・用途 都市計画区域内用途地域無指定
(建ぺい率70%、容積率200%)
- ・施設 ガス、水道、下水道完備、舗装道路

市が分譲する宅地を購入するのに利用できる低利融資

加茂市保有宅地取得資金融資制度のご案内

融資条件 ①融資限度額 600万円 ②融資利率 年1.8%

③融資期間 10年以内(据え置き3カ月以内を含む) ④返済方法 毎月返済

⑤資金の用途 加茂市が保有する宅地の取得資金

お問い合わせ・申し込みは **加茂市建設課用地係** 電話52-0080 内線219

カメラ スケッチ



上条まつり（6月15日） 六角御神輿で知られる長瀬神社祭礼の別名は「だんごまつり」。菓子店では笹だんごの注文が一段落つくと「夏」を迎えるそうです。



加茂まつり（5月21日） 乳母行列には日傘に守られ、産衣に飾られた70人が参加し、子どもの健やかな成長を願っていました。



加茂川一斉清掃（6月4日） 約2500人が集まり、早朝の河川敷をきれいにしました。可燃ごみが昨年より2トンほど多かったそうです。



歯っぴいスマイル（6月4日） 子どもたちも大きなお口で健診を受けていました。途中、カモレンジャーが登場し、食後の歯みがきを約束していきました。



冬鳥越バラ園 テレビや新聞などで紹介されているからでしょうか、市外からもたくさんの方が訪れています。これから秋まで色や香りが楽しめます。



市内小学校運動会（5月28日） 今年は午前中で雨により中止。ゴール付近ではカメラを持った保護者の撮影会場となっていました。

加茂市史編さんの

委員紹介④

現在、編さんされている「加茂市史」は、市内外のおおぜいの方からご協力いただき、刊行に向けて作業が続けられています。

民俗部会



岩野 笙子 さん
副部長、
新潟県民俗学会員

産育・婚姻・葬送などの人生儀礼を調査し、加茂市における「人の一生」に関わる習俗・伝承を記録したい。

民俗部会



五十嵐 稔 さん
新潟県民俗学会員

地域に根ざした生産・生業の民俗に視点をおきながら、加茂市の優れた伝統技術に注目していきたい。

民俗部会



五十嵐立幸 さん
新潟県民俗学会員

古い町家や農家の形、部屋の名前や使い方を通して、昔の生活を伝えたいと思う。

民俗部会



中山 勇 さん
元新潟中央福祉
専門学校校長

民俗は人々の生活の文化。昔話や方言、俗信などから生活の知恵や喜び悲しみ、教訓などをまとめたい。

民俗部会



鈴木 秋彦 さん
新潟県民俗学会員

加茂の豊かな山・川・里の中でおりなす、自然に向き合う人の知恵、人と人のつながりのシステムを描きたい。



口の中のがん

—早期発見のために—

口の中の腫瘍（できもの）は、他の臓器の腫瘍に比べ目にふれやすい部位にあり、歯科受診率の増加、口腔衛生思想の普及などにより腫瘍発見の機会は増えていきます。しかし、必ずしも早期発見、早期治療が行われているとは限りません。それは、早期の腫瘍には痛みがなく、相当地に大きくなるまで気づかなかつたり、腫れに気づいても放置される場合の多いことが原因の一つであると考えられます。

それでは、早期発見のために腫瘍の症状について説明します。腫瘍は大きく分けて、粘膜表面から外方にカリフラワー状に発育したものと、内方への発育の著しいものに分けられます。表面の状態は、口の粘膜が白色でざらざらしたもの、赤味を帯びてぶつぶつしたもの、いぼ状に隆起したもの、潰瘍となつているものなど様々ですが、触るとその周囲にしこりのあるの

が特徴です。更に、歯がぐらぐらして咬めない、入れ歯が合わなくなった、歯ぐきから血が出る、喋りにくい、飲み込みにくい、舌が動かしにくい、口が開けにくい、鼻が詰まる、顔が腫れてくる、顔の皮膚にしびれが出る、顎の下や頰のリンパ節が腫れてくる、などが見られますが、早期では痛みを伴うことはほとんどありません。

このような症状は、もちろん、他の病気にもみられるものです。しかしながら、腫瘍では早期発見早期治療こそが最も大切となります。何か口の中の異常に気づきましたら、一日も早く歯科専門医の受診をお勧めします。

（加茂市歯科医師会）



小学校の始まり

(一)

明治五年（一八七二）八月「学制」が發布され、近代の学校教育が始まった。小学校（上等・下等各四年）の下等四年が義務とされた。

当時、新潟県では、近隣町村を組み合わせた大区―小区制を実施しており、この小区を小学校区とした。小区の標準戸数は千戸とされたから、平均家族数（二戸六人）でみれば一校区の人口はおおよそ六千人となる。これは「学制」が目安とした六百人の十倍で、それだけ新潟県の校区が広いことになる。このため県は、通学が困難な遠距離の地には、小規模の「義塾」（分校）の設立を勧めた。

加茂の風土記

加茂町は、上条村・東俣新田（鱈田沢から長福寺の大字上条）・矢立新田・狭口村・猿毛村の五カ村とで小区を構成しており【新潟県第二中学区二十一番小学区】とされた。こ

の学区に「仮学校」が大昌寺を借用して発足したのは翌六年六月で、七年一月には青海神社の鳥居わき（現在の加茂山公園駐車場）に校舎が新築され、正式開校の認可を得た。

最遠方の猿毛・狭口両村は、それまでも地区の子どもたちが読み書きを習う場であった小貫の安国庵（現在の小貫集落開発センター付近）を義塾「振文舎」として立ち上げ、翌七年一月には加茂町校の「第一分校」となった。後の狭口小学校である。



旧狭口校舎。現在の狭口保育園の地。（昭和42年撮影）

上条村も、遠距離の児童があることなどから分校開設を求め、明治八年五月、双壁寺と「境内の花や木を荒らさない」などの条件で三年間の借用契約を交わし、「第二分校」を開校させた。期限が切れた十一年に、松屋機屋を借用して移転（現在の若宮町・株式会社マスカガミ付近）、これが現在の加茂南小学校に続く。

三校とも寺での出発である。下条の光徳寺、七谷の賢聖寺や善興寺も、小学校出発の場となっていた。寺子屋という言葉が示すように寺が学ぶ場であったという経緯や、校舎新築の資金を工面できなかったことによるが、就学率も低く（二十一番小学区の明治九年は一七％）、寺の本堂で事足りたというところもある。

（溝口敏麿）

「加茂の風土記」は、長年にわたり執筆していただいた古川信三さんにかわり、加茂市史編さんの監修者で新潟大学人文学部教授・溝口敏麿さんと、市教育委員会社会教育係長（民俗資料館学芸員）・伊藤秀和さんを加え、郷土の歴史・民俗を掲載してまいります。

あじとつ

社会福祉費寄付金

▼全国松坂・小唄日本一大会実行委員会から 二万三千三百五十円

社会福祉事業費として

▼喜寿会（アルミ缶回収金）から 三万五千元

▼加茂中学校から 千二百三十円

人口のうごき

6月1日現在	
世帯	9,979 (+1)
人口	32,198 (-18)
男	15,568 (-15)
女	16,630 (-3)
()内は前月比	
(5月異動分)	
出生	11 (男6女5)
死亡	32 (男20女12)
転出	41
転入	44